KOIZUMI

CDラジオ

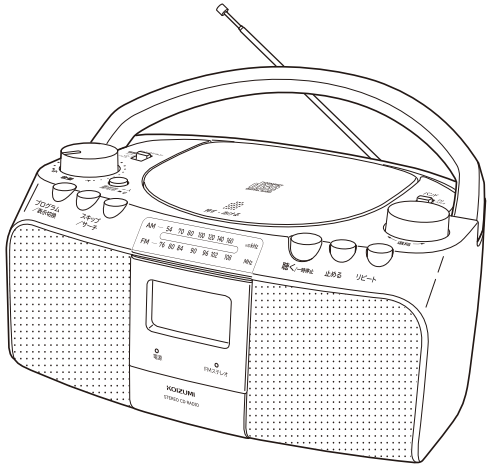
型番 SAD-4706

家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書（保証書付）

このたびはコイズミCDラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。商品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後は、大切に保管してください。



目　次

安全上のご注意 …… 1～3
ご使用になる前に …… 4
　CDについて …… 4
　結露について …… 4
各部のなまえ …… 5
電源について …… 6
　家庭用電源で使うには …… 6
　乾電池で使うには …… 6
CDを聴く …… 7～9
　ディスプレイの表示について …… 8
　リピート演奏 …… 8
　プログラム演奏 …… 9
ラジオを聴く …… 10
　設置場所について …… 10
外部音声機器を聴く …… 11
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く …… 11
お手入れのしかた …… 12
　本体のお手入れ …… 12
　レンズのお手入れ …… 12
仕様 …… 13
故障かな？と思ったら …… 14
アフターサービスについて …… 17
お客様の個人情報のお取り扱いについて …… 17
保証・無料修理規定 …… 18
保証書 …… 19
お客様相談窓口 …… 19

小泉成器株式会社

安全上のご注意

*ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味

	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

⚠警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く
そのまま使用すると、事故の原因となります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。

本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く
そのまま使用すると、事故の原因となります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。

本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない
火災･感電の原因となります。

風呂場では使用しない
火災･感電の原因となります。

表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)
火災･感電の原因となります。

本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない
お子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードを傷付けたり､加工したり､無理に曲げたり､ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない
電源コードが破損して火災･感電の原因となります。

電源コードの上に重い物をのせたり､電源コードが本体の下敷きにならないようにする
電源コードに傷が付いて、火災･感電の原因となります。
電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

梱包材を子供の手の届く場所に置かない
口や鼻をふさいだり、口に入れるなどして窒息する恐れがあります。

雷が鳴ったら、機器の金属部や電源プラグに触れない　また屋外で使用しない
落雷や誘電雷により感電･やけど･機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

改造はしない　修理技術者以外の人は分解したり修理をしない
事故やけがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にご相談ください。

電源プラグは清潔にする　刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る
ショート・火災の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない
本体の変形･変質･火災･故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。

電源コードを熱器具に近付けない
電源コードの被ふくが溶けて、火災･感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（ＣＤ部）
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない
乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
乾電池の破損・液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

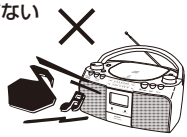
業務用として使用しない　また、不特定多数の人が使用する場所に置かない
連続過負荷による故障の恐れがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる
乾電池の発熱・破裂・破損・液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は乳幼児の手の届かない場所に保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源コードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードをはずしてから行う
接続コードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときや家庭用電源で使用するときは、乾電池を取り出しておく
乾電池の液もれで回路がショートし、火災･けが･汚損の原因となることがあります。

持ち運びするときは、アンテナをたたむ
伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかったり、当たるなどしてけがの原因となることがあります。

乳幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する
けがの原因となることがあります。

ご使用になる前に

ご注意

●次のような場所では使用・保管しないでください。
- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ちりやほこりなどの多い場所。
- 風呂場など湿気の多い場所。
- テレビやチューナーなどのそば。
  雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

●温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。
その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。

●キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

●レンズにほこりがつかないように、使用しないときは、CDドアを閉めておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。

●本体の分解・改造は絶対にしないでください。

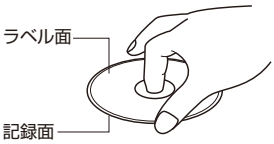
CDについて

CDの種類

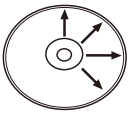
- COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA(Compact Disc Audio)フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
  ※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特殊形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へと拭き取ってください。



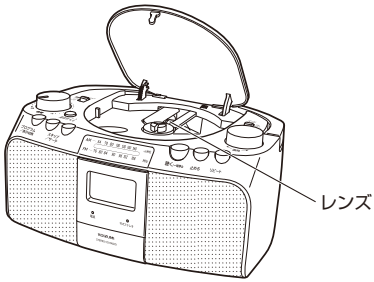
※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。

ご注意

円形以外(ハート型など特殊形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴が付いた状態では正しく演奏できません。
このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1〜2時間たってから使用を開始してください。



- **地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。**
- **取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。**

各部のなまえ

本　体

「LINE IN」端子
外部音声機器と市販の接続コード(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。
(P. 11参照)

「ヘッドホン」端子
市販のヘッドホン/イヤホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。
(P. 11参照)

「ファンクション」スイッチ
(CD／LINE IN/ラジオ/電源切)

ロッドアンテナ

ハンドル

「重低音」ボタン
(入/切)

「音量」ダイヤル
(大/小)

CDドア開閉部(押す-あける)

「バンド」スイッチ
(AM/FM/FMステレオ)

「選局」ダイヤル

「プログラム／表示切換」ボタン

「スキップ／サーチ(⏮)(⏭)」ボタン

ディスプレイ

「リピート」ボタン

「止める(■)」ボタン

「聴く／一時停止(▶II)」ボタン

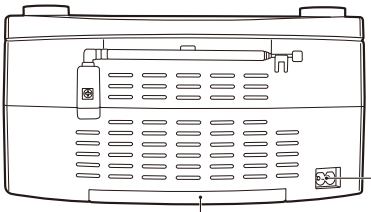
選局目盛

スピーカー

「電源」ランプ

「FMステレオ」ランプ

背　面

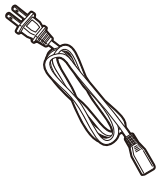


「AC IN」端子
付属の電源コードをつなぎます。(P. 6参照)

電池ぶた

付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



電源コード

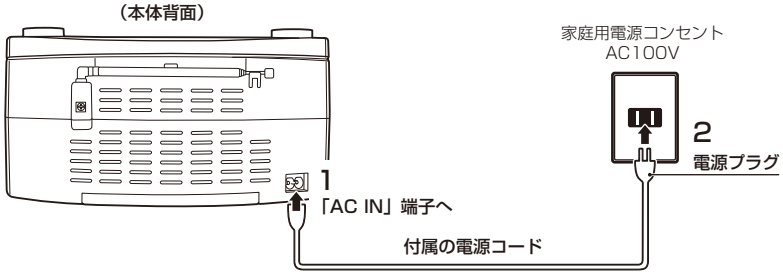
電源について

家庭用電源で使うには

1. 電源コードの供給プラグを本体の「AC IN」端子へ差し込む。

2. 電源プラグをコンセントへ差し込む。

- 「ファンクション」スイッチが［ 電源切 ］になっていることを確認してください。



※付属の電源コードは、SAD-4706専用です。
他の製品には使用しないでください。

ご注意

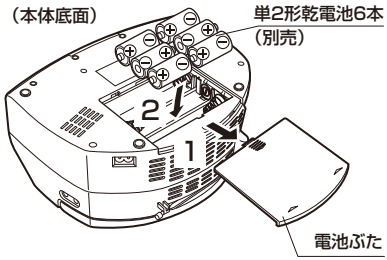
- **電源コードを抜き差しするときは、「ファンクション」スイッチを［ 電源切 ］にしてから行ってください。**
- **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。**
  感電やショートして発火することがあります。
- **電源コードの上に重い物をのせないでください。**
  電源コードに傷が付いて、火災や感電の原因となります。

乾電池で使うには

**※乾電池で使用するときは、電源コードの供給プラグを本体の「AC IN」端子から抜いてください。
電源コードが差し込まれていると乾電池で使用できません。**

1. 電池ぶたを開ける。

2. 単2形アルカリ乾電池6本（別売）を右図のように入れ、電池ぶたを閉める。



ご注意

乾電池の発熱・破裂・破損・液漏れ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

乾電池の交換目安

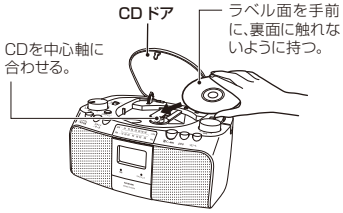
乾電池が消耗してくると、CDが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。
このようなときは、新しい乾電池と交換してください。

CDを聴く

1. 「ファンクション」スイッチを[CD／LINE IN]にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

2. 押す - あける を押してCDドアを開け、CDをセットする。



3. 押す - あける を押さえて、CDドアを閉める。

- CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
- ディスプレイに総曲数が表示されます。

4. ▷II を押す。

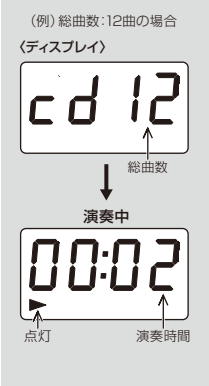
聴く/一時停止

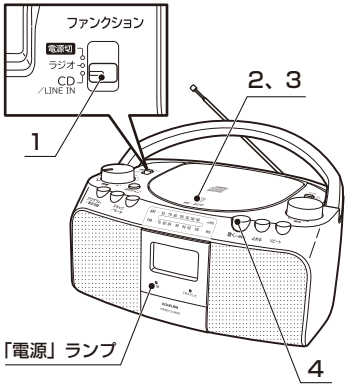
- 1曲目から演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると自動停止します。

※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。

ご注意

- ●CDドアを開けるときは、ハンドルをたたんでください。
- ●CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前に保護シートを取りはずしてください。
- ●演奏中・一時停止中、またはCDをセットしてCDドアを閉じた直後に、CDドアを開けないでください。CDに傷が付く恐れがあります。





音量を調節する	小 大 音量 「音量」ダイヤルを回す。
演奏を止める	□ 止める を押す。
一時停止する	▷II 聴く/一時停止 を押す。 ●演奏に戻るにはもう一度押す。 〈ディスプレイ〉 00:07 点滅
早送りする 早戻しする	**演奏中／一時停止中に** ⏮ ⏭ スキップ／サーチ を押し続ける。 ●演奏に戻るにはボタンから指を離す。 ⏭ ･･･早送りになります。 ⏮ ･･･早戻しになります。
曲の頭を探す（スキップ）	**演奏中／一時停止中に** ⏮ ⏭ スキップ／サーチ を押す。 **停止中に** ⏮ ⏭ スキップ／サーチ を押して曲の頭出しをした後、▷II 聴く/一時停止 を押す。 ⏭ ･･･演奏中の曲の次の曲番の頭出しになります。 ⏮ ･･･演奏中の曲の頭出しになります。2回押すと演奏中の前の曲の頭出しになります。

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「Nocd」が表示される場合、以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？（P. 12参照）
- CDが汚れたり、傷付いていませんか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？（P. 4参照）
- 保護シートを取りはずしていますか？

ご注意

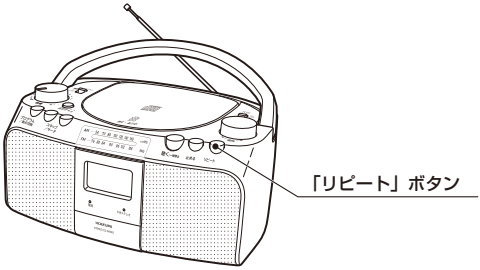
- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで10秒前後かかります。
- コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したCD（MP3ディスクやWMAディスク等）は再生できません。

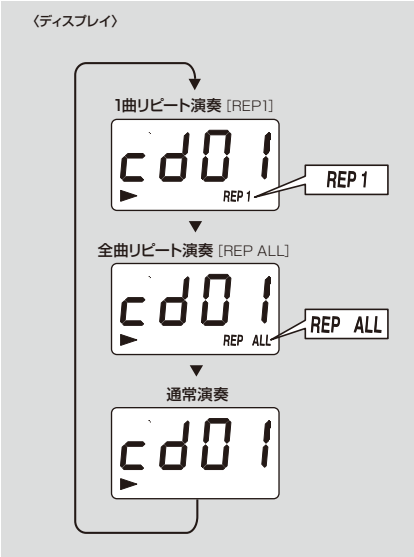
リピート演奏

演奏中／一時停止中／停止中に

リピート を押して再生モードを選ぶ。

- 押すごとに設定が変わります。





- **1曲リピート演奏** [REP1] …… お好みの1曲を繰り返し演奏します。
- **全曲リピート演奏** [REP ALL]…… 全曲を繰り返し演奏します。

CDを聴く

プログラム演奏（お好みの曲を予約順に聴く）

停止中に

1. ◯ を押す。
プログラム／表示切換

2. ⏮ ⏭ でお好みの曲を選ぶ。
スキップ／サーチ

3. ◯ を押す。
プログラム／表示切換

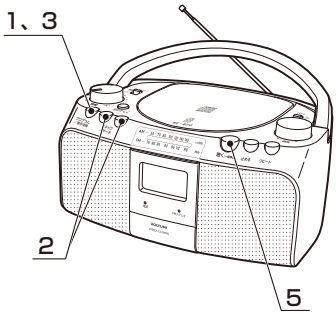
- 予約が確定され、次のプログラム番号が表示されます。

4. 上記2 ～ 3の操作を繰り返し、予約していく。

- 最大20曲まで予約できます。

5. ▷II を押す。
聴く/一時停止

- プログラム演奏が始まります。
- プログラム演奏が終わると自動停止します。



予約したプログラム内容を変更する	プログラム演奏中に 1. □ を押す。（止める） 2. ◯ で、（プログラム／表示切換） 変更したいプログラム番号を選ぶ。 3. ⏮ ⏭ で、（スキップ／サーチ） お好みの曲に変更し、▷II を押す。（聴く/一時停止） （プログラム番号1からプログラム演奏が始まります。）	プログラム内容を確認する	プログラム演奏中に 1. □ を押す。（止める）　2. ◯ を押す。（プログラム／表示切換） （押すたびに予約順にプログラム内容が表示されます。） ※再びプログラム演奏に戻るには ▷II を押す。（聴く/一時停止）
		プログラム演奏を終了する	プログラム演奏中に □ を押す。（プログラム内容は保持）（止める） ※保持されたプログラム内容を再度演奏する場合は、▷II を押す。（聴く/一時停止） ※ □ を2回押すと、プログラム演奏が解除されます。（止める）

ラジオを聴く

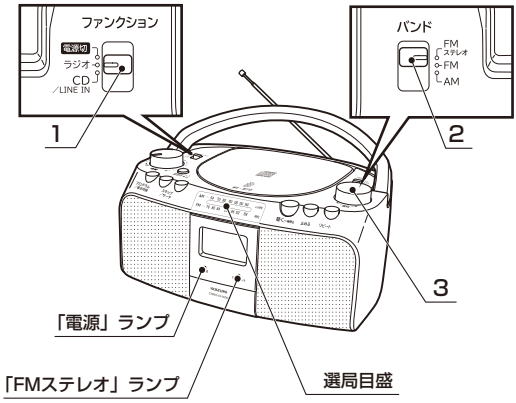
1. 「ファンクション」スイッチを［ラジオ］にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

2. 「バンド」スイッチで［AM］［FM］［FMステレオ］のいずれかを選ぶ。

3. 「選局」ダイヤルでお好みの局を選ぶ。

- 選局目盛を目安に選局してください。
- FMステレオ受信時は、「FMステレオ」ランプが点灯します。

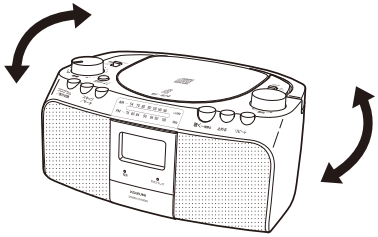


設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすい場所に置いてご使用ください。

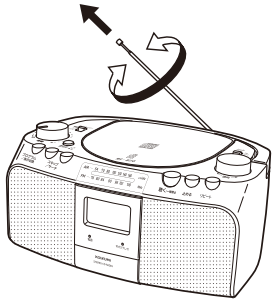
AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえる場所に設置してください。
（アンテナは本体内蔵）



FM放送の場合

アンテナを伸ばし、最も良く聴こえる方向に向けてください。



音量を調節する	「音量」ダイヤルを回す。	ラジオを切る	「ファンクション」スイッチを［電源切］にする。
FMステレオ放送で雑音が多い場合	「バンド」スイッチで［FM］に切り替える。 （ステレオになりませんが、聴こえやすくなることがあります。）		

外部音声機器を聴く

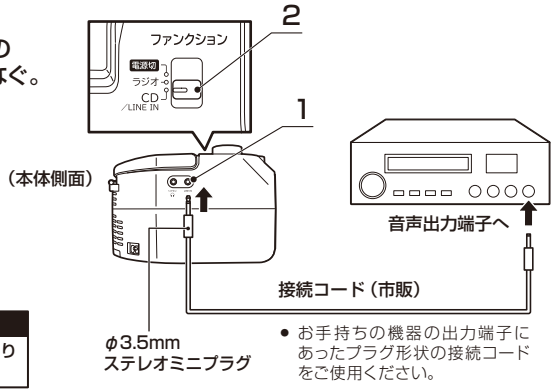
■外部音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体の「LINE IN」端子と外部音声機器の音声出力端子を接続コード(市販)でつなぐ。

2. 「ファンクション」スイッチを[CD ／LINE IN]にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

3. 外部音声機器を再生する。



ご注意

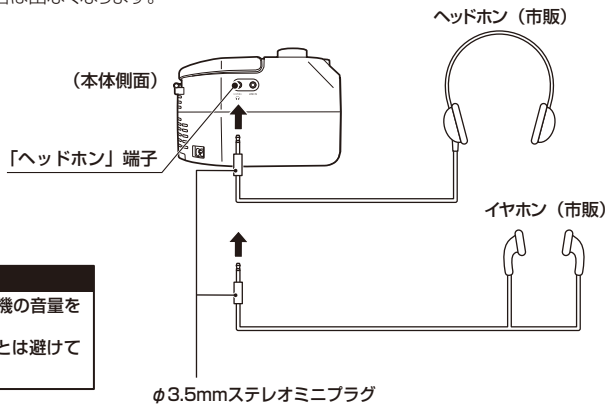
外部音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取りはずしてください。

音量に過不足を感じるとき	本機と外部音声機器の両方の音量を調節する。 ※外部音声機器の出力が小さいと、音がうまく聴こえない場合があります。	外部演奏を止める	1. 外部音声機器を止める。 2. 本機の「ファンクション」スイッチを[電源切]にする。

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンを本機につないで、演奏を聴くことができます。

※ヘッドホン/イヤホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。



ご注意

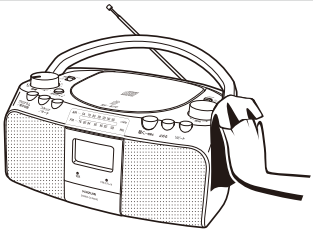
- ●ヘッドホン/イヤホンを本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- ●耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

※必ず「ファンクション」スイッチを[電源切]にして電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

本体のお手入れ

乾いた布などで拭いてください。



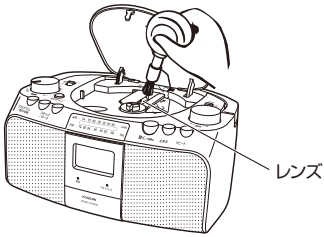
汚れがひどいとき

中性洗剤を薄めて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。

レンズのお手入れ



ごみやほこりが付いた場合

レンズを市販のブロアーで2～3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをブロアーで吹いてください。

ご注意

レンズには指紋や汚れを付けないようにしてください。

仕様

受信周波数	FM:76～108MHz AM:522～1629kHz	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時:約80時間 CD再生時:約12時間
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトバーアンテナ内蔵	消費電力	11W
スピーカー	7.7cm(8Ω)×2個	最大外形寸法	(ハンドルを立てた時) 約252(幅)×203(奥行)×200(高さ)mm (ハンドル収納時) 約252(幅)×203(奥行)×127(高さ)mm
入力端子	LINE IN 端子(φ3.5mm)×1		
出力端子	ヘッドホン端子(φ3.5mm)×1		
実用最大出力	1W+1W	質量	約1.4kg(乾電池含まず)
電源	2電源方式 ●AC100V 50/60Hz(付属電源コード使用時) ●DC9V　単2形アルカリ乾電池×6本(別売)	電源コードの長さ	約1.7m
		付属品	電源コード

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。
※電池持続時間は、乾電池の種類や使用状況（音量等）、環境によって異なることがあります。

故障かな？と思ったら

症　状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	電源コードが抜けていませんか?	正しく接続してください。
	乾電池は正しい方向で入っていますか?	乾電池の ＋ － を確かめてください。
音が出ない。	ヘッドホン端子にコードが差し込まれていませんか?	コードを抜いてください。
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「Nocd」と表示する。	乾電池が消耗していませんか?	新しい乾電池と交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか?	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか?	お手入れのしかたを参考にレンズのお手入れをしてください。(P. 12参照)
	レンズに露や水滴が付いていませんか?	CDを取り出してCDドアを開けたまま、1時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか?	汚れを落としてください。
	ファイナライズ処理（通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。	
	CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。
	保護シートを取りはずしていますか?	保護シートを取りはずしてください。
CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか?	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか?	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか?	CDを替えて試してください。
	乾電池が消耗していませんか?	新しい乾電池と交換してください。
ラジオに雑音が入る。	電波の届きやすい場所に置いていますか?	設置場所を確認してください。(P. 10参照)
	テレビと同時に使用していませんか?	テレビから離してください。 またはテレビの電源を切ってください。

アフターサービスについて

1. 保証書

● この取扱説明書には保証書が付いています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

● 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

● CDラジオの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

● アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか	●電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	▶	ご使用中止	このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。
〈利用目的〉
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。
なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
〈業務委託の場合〉
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、**「無料修理」**致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご転居、ご贈答品等で**本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「お客様相談窓口」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ）一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
   （ト）譲渡、転売、リサイクル店（中古品）、中古販売店、オークション等により入手された場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。日本国外からの修理依頼や補修用部品・消耗部品の発送依頼には対応しておりません。
   Effective only in Japan.　We do not offer repair service or dispatch maintenance parts or consumables internationally.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

CDラジオ
保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

型　番	SAD-4706		
お買上げ年月日	年　月　日		
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買上げ日より）	
	本体	1　年	
お客様 お名前	様		
お客様 ご住所	〒 TEL		
販売店	店名・住所・電話		

見本

★販売店の皆様へのお願い　必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

小泉成器株式会社　本社　〒541-0051　大阪市中央区備後町3丁目3番7号　TEL.06(6268)1423

お客様相談窓口

製品のお問い合わせ、修理に関するご相談、部品の購入に関するご相談は

お客様サポート

https://www.koizumiseiki.jp/support/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570（07）5555**

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合 **TEL. 03（3570）6730**

受付時間：平日 9：00～17：00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

小泉成器株式会社　〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号

2026年7月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

★6G